



まちの平和を守るため、こんな活動を行っています



消防技術の向上と士気高揚を目的に、消防用機械器具の基本操作などの技術を競い合う消防操法競技会が、隔年で行われています。

6年ぶりの開催となった昨年の競技会でも、団員が気迫あふれる姿で練習の成果を披露しました。

消防操法競技会



消防の1年は年始の出初式から始まります。

消防団の一致団結を誓い、地域の安心安全を願う行事となっております。

先頭に威風堂々の行進が行われるほか、本年は震災後初めての一斉放水が実施されました。

消防出初式



出水期を前に実施されるのは、水害への備えを確認する水防演習です。

本年は初めて高田松原運動公園で開催され、堤防崩壊を防ぐための「シート張り工法」と、川から水があふれるのを防ぐための「改良積土の工法」を行いました。

水防演習



春と秋には、市民の生命・財産を守る意識を培い、広く市民に防災意識の普及啓発を図るため、消防演習が行われます。

春は分団ごとに、秋は団全体が一堂に会して実施し、部隊行進や観閲などを披露して、市民を守る決意を新たにします。

春季・秋季消防演習



消防・防災を身近に感じてもらうため、市防災課や消防本部・消防署による「消防・防災フェスタ」「幼年消防フェスタ」が開催されています。

放水体験や消防車両への乗車体験など、普段は経験できないブースが用意され、消防団もサポートします。

消防・防災フェスタ 幼年消防フェスタ



消防団の待遇

区 分		内 容
報酬 (※)	年額報酬	3万6,500円～17万6,800円(階級による)
	災害出動報酬	3千円～8千円(災害出動の活動時間による)
	上記以外の報酬	2,200円/日(訓練や警戒などに出勤した場合)
公務災害補償		消防団活動中に負傷した場合、公務災害として治療費などの費用を補償
退職報奨金制度		5年以上勤務し退職した際に、勤続年数および階級に応じて支給
消防団員等福祉共済		消防団活動外を含め、けがや疾病により入院した場合の見舞金や、死亡・重度障がいの状態になった場合の一時援護金を支給
運転免許取得補助制度		免許条件により所属する部の車両が運転できない者に対し、限定解除費用の半額を補助
被服などの貸与		消防活動に必要な活動服やヘルメット、安全靴などを貸与
表彰制度		功労に応じて、各種機関から表彰の授与

※その他、会議や研修などに出席した場合に、2,200円/日を支給

